～～～～「谷先生」五年間ありがとうございました～～～～

■コラム「無影灯」は、会報「まごころ」の品格ある場所として定位置に納まり、これまで拙い会報を支え続けていただきました。

しかし、誠に残念ながらその「無影灯」が平成十一年一月号を最後に、通算六十一編をもって終止符を打つことになりました。

理由はご承知の通り、このコラムに五年間、毎月原稿をお寄せ下さった谷医院院長で一宮市医師会会長だった谷先生が、この度、一宮市長になられたからです。

■当会発足当時から未熟な会に温かいご理解をいただき、何かとご支援をいただいてきましたのが、会報発行時のコラム「宇宙塵」の聖心堂医院院長伊藤先生であり、伊藤先生からコラムを引き次いで下さった谷先生でした。

これまで私達は先生から、「素人だからいい」という力強いエールをいただき、励みとして参りました。

今度は、そのまま先生に私達がエールをお送りすることになろうとは思いもかけないことでした。

■先生の市長立候補の衝撃的なニュースを耳にし、この五年間、お寄せいただいたコラム集を改めて読み返してみれば、本当に素晴らしいコラムだったと再度思いを深くするものでした。

優れた文章力はもとより、多様な内容、ものをとらえる的確な視点、しかも鋭く、先生の考え方や人柄、人格そのものが感じられました。

こういう方が市長候補に上るのも当然のことだったかもしれません。

■立候補なさって以来、会報の読者から「直接、谷先生を存じあげないが、あれを書いておられる方だから人として間違いない方と思う」という声援が、度々会に届いておりました。

私達は会の性格上、政治活動はしないことになっていますが、文章を読まれた方々からこういう支援があったことは事実でした。

■お孫さん“はるかさん”をこよなく愛される五七歳。

昨年の会報十月号で「別の道を選んでいたらどんな人生があったんだろうか」と書いておられました。

二カ月後、二十七万市民に責任を持つという重い重い人生を選択され、結果それを実現されました。

人を大切にされる市民の為の市民の政治を実行されますことを確信し、期待を込め重ねて大きなエールをお送りしたいと思います。

くしくも今年は国際高齢者年。健康な人も痴呆の人も寝たきりの人にも、高齢者が人として尊厳を持って生きられるよう全力を尽くしていただきたいと思っています。

本当に今までありがとうございました。心から感謝申し上げます。

ご案内

平成10年度

住民参加型在宅福祉サービス団体セミナー開催

主　催・愛知県社会福祉協議会

日　時・平成11年２月23日（火）午前10時～

場　所・愛知県社会福祉協議会　３階

内　容・

◇住民参加型団体活動の課題と展望
基調説明　愛知県地域組織部長　丹羽典彦氏
～介護保険の動向をふまえて～

◇パネルディスカッション
ＮＰＯ法人と介護保険と
今後住民参加型の活動について

参加費・1,000円

２　月の予定

１日（月）	会報「まごころ」発行	
	定例会	
３日（水）	運営委員会	
４日（木）	ミニデイサービス	（場所・保育園）
	-宮線ボランティア	川崎、藤藁、大橋
８日（月）	事務所開放日	
	-宮線ボランティア	鈴木、平子、山口
10日（水）	運営委員会	
11日（木）	ミニデイサービス	（場所・事務所）
14日（日）	介護保険みんなで考える会	（スポーツ文化センター）
（月）	事務所開放日	
	-宮線ボランティア	谷、安藤、小木曽
17日（水）	運営委員会	
18日（木）	ミニデイサービス	（場所・保育園）
	-宮線ボランティア	下川、藁城、川合
22日（月）	住民参加型在宅福祉サービスセミナー	（県社協）
	事務所開放日	
	-宮線ボランティア	宮田、村橋、倉地
24日（水）	運営委員会	
25日（木）	ミニデイサービス	（場所・事務所）
	-宮線ボランティア	岩田、小出、浅藁
27日・28日	全国宅老所グループホームフォーラム	（仙台）

♣♣♣３月の定例会は♣♣♣

３月８日（月）午前９時45分～午後３時

◆ケア活動事務手続き　９時45～10時15分　事務所
◆全　体　定　例　会　10時15～12時00分　〃
◆ケ　ア　検　討　会　13時00～15時00分　〃

この日はケアはお休みです。
利用会員さんよろしくお願い致します。

みんなの広場

痴呆の方から学ぶこと

デイサービスに参加のＯさんが昨年の暮れに突然他界された。少し記憶に障害をお持ちで、いわゆる老人性痴呆症だった。

私達は、痴呆症についての正しい理解をＯさんの確かな行動からいくつも教わった。

嬉しそうな笑顔から、また、時折みせられる寂しげな顔や怒った顔、親切な顔など、いろんな顔の向こうから、かかわる私達に信号を送っていただいた。

いつも送迎を下さったご家族からの希望で、Ｏさんの作品、指で書いたさくらや紅葉の絵や大文字の書等お通夜の席にお持ちした。

集まられた知人や親族の皆様に「こんなに書けたのよ!書いていたのよ!見てやって！」と泣きながら訴えられようにお話しされている姿にはっとした。

想像でしかないが、ご家族はＯさんの人格を皆さんに認めてほしかったのでしょうか。

周りの方々は一様に「まさか」という顔だった。まだ、世間では「痴呆＝何もできない・何もわからない」というのがあるのかもしれない。

私達もはじめはそうだった。デイサービスのかかわりの中で多くの発見をさせていただいた。

感情があって、意志がありサポート次第で楽しく何でも出来る。Ｏさんも勿論立派な人格が備わっておられる方でした。

私達の活動は、近しい方々にもみせられなかった一面を一緒に共有させていただいているのだと改めてその重さを感じ、緊張しています。

福祉用具リサイクル情報

【ゆずりたい情報】

◆ポータブルトイレ
◆車椅子２台
◆手すり（洋式トイレ用）
◆手動ギャッジベット

【ゆずりました情報】

◆車椅子１台

☆福祉用具譲りたい方、譲ってほしい方、情報をまごころ事務所までお寄せ下さい。